



発行/相模原市
〒252-5277
相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ
<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>
編集/総務局渉外部広聴広報課 ☎042-769-8200



携帯電話用ホームページ▶



潤水都市 さがみはら

TOPICS ■ トピックス ■

指定都市市長会議 in 相模原を開催



5月11日、本市を会場に、大都市の行財政に関する問題や共同活動などについて話し合う、指定都市市長会議が開催され、全国19の政令指定都市から市長などが集まりました。

会議では、加山市長が開催市の市長として議事進行役を務め、「地域主権に向けた取り組み」などの議題について話し合われました。

お問い合わせ 広聴行政課 ☎042-769-8248

LINE UP 今号の主な内容

2 市議会5月臨時会、6月定例会を開催

3 国民健康保険に加入している人へ

4 あなたの骨は大丈夫?

5 「フォトシティさがみはら2010」アマチュアの部 作品募集

6 7 子どもと家庭の相談・支援体制が充実

8 図書館は情報玉手箱!

9 運動して毎日健康!

12 ちゅうおう区版

別冊 ウェルネス通信(保健・介護予防事業案内)



市民の皆さんからの公募で決定したシティセールスコピー「潤水都市 さがみはら」のロゴデザインを募集します。決定したロゴデザインとともに、相模原の魅力を全国に発信し、シティセールス活動を展開していきます。

潤水都市 さがみはら に込められた思い

- 相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有しています。
- 清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちています。
- 戦後生まれ初の政令指定都市で若く活気にあふれ、「純粹」という言葉にかけています。

募集作品 自作・未発表で、第三者が所有・管理する著作権や商標などを侵害しない作品

- 色はカラー、白黒どちらでも可
- 「潤水都市 さがみはら」の文言が入る場合、字体の指定が必要。ふりがなは入っても可
- 「潤水都市 さがみはら」の文言と絵(図柄)を組み合わせたものでも可

応募資格 市内在住か在勤・在学の人、または相模原・町田大学地域コンソーシアムに参加している大学の学生

応募について 期限 6月30日(消印有効)

次の2点を直接か郵送で広聴広報課へ

- ①ロゴデザインを手書きか印刷したA4判の紙
- ②次の事項を書いたA4判の紙

- 制作意図(200字以内)
- 応募者の住所、氏名、年齢、電話番号、Eメールアドレス(持っている人)、職業(学生は学校名と学年)

賞・副賞 最優秀作品(1作品) 賞金10万円
優秀作品(2作品) 賞金3万円

採用作品の著作権 著作権等の一切の権利は、相模原市に帰属します。

※採用作品は、修正を加える場合があります。

選考結果の発表 8月～9月に本紙や市ホームページで入賞作品を発表します。

応募先・お問い合わせ 広聴広報課 ☎042-769-8200
〒252-5277 中央区中央2-11-15

市議会 5月臨時会、6月定例会を開催

本会議・委員会を午前9時30分から表のとおり開催します。
6月定例会のための議会運営委員会は5月21日(金)です。6月30日(水)の議会運営委員会は、本会議終了後に開催します。

	日にち	内容
5月臨時会	5月20日(木)	本会議(常任委員会委員の選任等)
	5月28日(金)	本会議(提案説明)
6月定例会	6月7日(月)	本会議(代表質問・個人質疑、委員会付託)
	8日(火)	本会議(予備日)
	10日(木)	総務委員会
	11日(金)	環境経済委員会
	14日(月)	民生委員会
	15日(火)	建設委員会
	16日(水)	文教委員会
	25日(金)	
	28日(月)	本会議(一般質問)
	29日(火)	
	30日(水)	本会議(委員長報告、採決)、議会運営委員会

※会議の日程、時間などは変更になることがあります。

お問い合わせ 議事課 ☎042-769-8278

6月1日は「人権擁護委員の日」

人権にかかわる特設相談所を開設

法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談に応じます。
日時 6月1日(火) 午前10時～午後4時
会場 各区役所市民相談室、城山・津久井・相模湖・藤野まちづくりセンター

お問い合わせ 相模原人権擁護委員協議会 ☎042-753-2110

中小企業を応援します！ 中小企業融資制度

市指定の金融機関から、事業資金の融資を受けられる制度です。利子補給と信用保証料の補助があります。

資金名	融資利率	利用者負担利率	融資限度額
中小企業振興	2.4%	2.4%	3,000万円
小企業小口	2.4%	1.4%	1,000万円
景気対策特別	2.2%	0.6%	2,000万円
景気対策特別小口	2.2%	0.3%	500万円
経営安定支援	2.2%	0.6%	2,000万円
地球温暖化防止支援	2.4%	0.5%	3,000万円

※県創業支援融資利用者に対する補助制度もあります。
※要件や申込方法について、詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ 産業・雇用政策課 ☎042-769-8237

市職員を募集 (医師)

選考区分 医師 **採用** 原則、平成23年4月1日以降
募集人員 若干名 **職務内容** 公衆衛生業務等に従事
受験資格 昭和26年4月2日以降に生まれ、医師免許があり、保健事業に必要な公衆衛生が知識がある人。ただし、平成16年以降に医師免許を取得した場合は、医師法第16条の2に規定する初期臨床研修を修了した人
書類審査・個別面接 随時
 ※申込方法など詳しくは、市ホームページの「相模原市職員募集」か、職員課、各区役所総務課・まちづくりセンターなどにある受験案内をご覧ください。
申し込み 受験案内に付いている申込書と必要書類を5月17日～9月30日(消印有効)に郵送で職員課へ
お問い合わせ 職員課 ☎042-769-8213

市地域保健医療審議会の委員を募集

本市の地域保健と地域医療の調査・審議などを行います。
対象 市内在住の20歳以上の人(本市の他の審議会などの委員、職員、議員を除く) = 4人(選考)
任期 7月～平成24年6月(会議は年2回程度)
申し込み 地域医療課、各行政資料コーナー・まちづくりセンター・公民館(青根・藤野中央・沢井公民館を除く)にある応募用紙(市ホームページからダウンロード可)と、応募動機(800字程度)を書いて、5月17日～31日(必着)に、直接か郵便、ファクス、Eメールで同課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-769-9230 ☎042-759-4395 Eメール chiikiiryuu@city.sagamihara.kana.gawa.jp)へ

ファミリーサポートセンター会員募集

保育園・児童クラブなどへの子どもの送迎など、子育てを助け合う会員制の組織です。子育ての手助けを受けたい人(利用会員)と手助けを行いたい人(援助会員)を募集します。

入会説明会

日にち	時間	会場
6月1日(火)	午前10時～11時	あじさい会館
7日(月)		
12日(土)		
6月5日(土)	午前9時30分～午後4時(6月24日・7月3日(土)は午後3時30分まで)	南保健福祉センター
18日(金)		

対象 市内在住か在勤・在学で次に該当する人
 利用会員 = 生後3か月～小学校6年生(障害児は18歳まで)の子どもを持つ人
 援助会員 = 20歳以上で講習会に出席できる人

※保育士、幼稚園・小学校教諭、保健師等の資格がある人は、有資格者登録をすすぐに活動できます。

申し込み 電話かEメールで5月17日から同センター(☎042-730-3885 Eメール famisapo@sagamiharashishakyo.or.jp)へ

※説明会、講習会とも保育あり(要予約)

援助会員講習会〈全2回〉

日にち	時間	会場
6月24日(木)	午前9時30分～午後4時(6月24日・7月3日(土)は午後3時30分まで)	南保健福祉センター
7月1日(木)		
6月26日(土)	26日は午後3時30分まで)	あじさい会館
7月3日(土)		

みんなの手で町をきれいに

市民地域清掃の日

市では、毎年5月30日(ごみゼロの日)に一番近い日曜日を「市民地域清掃の日」にしています。日ごろ利用している地域の道路沿いや広場、ごみ・資源集積場所などの清掃にご協力をお願いします。

日にち 5月30日(日) <雨天の場合6月6日(日)>

ごみの処理

市で配布するごみ袋などに入れて、地域のごみ・資源集積場所に出してください。市が一般ごみと一緒に収集します。



※ごみ袋は自治会等に5月中旬に配布します。

※ほうき、ちりとりなどの清掃用具は、参加者各自で用意してください。

※木の枝は長さ50cm未満、太さ10cm以下に切り、ひもで束ねてください。

お問い合わせ

緑区(橋本・大沢地区) 中央区、南区	資源循環推進課	☎042-769-8334
城山・津久井・相模湖・藤野地区	津久井クリーンセンター	☎042-784-2711

相模川クリーン作戦

相模川の美しい自然を保全するため、河川敷の清掃を実施します。

日時 6月6日(日) 午前9時～10時(小雨決行)

会場

大沢地区	相模川自然の村周辺(上大島キャンプ場周辺を含む)、神沢河原周辺
城山地区	葉山島青少年広場前、小倉橋周辺
田名地区	高田橋周辺
麻溝地区	昭和橋周辺
新磯地区	三段の滝下周辺、磯部頭首工周辺、新戸スポーツ広場周辺

※軍手とごみ袋(レジ袋)を持って、直接会場へ(受け付けは、相模川を愛する会の旗が目印)

※当日、雨天時の実施についてのお問い合わせは、午前7時30分から市役所守衛室(☎042-754-1111)へ



お問い合わせ

相模川を愛する会事務局(水みどり環境課内) ☎042-769-8242

国民健康保険に加入している人へ

お問い合わせ 国民健康保険課
 国保税について ☎042-769-8296
 人間ドックについて ☎042-769-8235

税率と限度額が変わります

厳しい国保事業の財政運営

加入者の高齢化や医療技術の高度化などに伴い、保険給付費が年々増加しています。このような状況から、国民健康保険（国保）財政の健全化を図るため、平成22年度に国保税の税率を改正することになりました。加入者の皆さんが安心して医療を受けられるよう、国保事業の円滑な運営にご協力ください。

() 内は変更前

国保税	=	医療分	+	支援金分※1	+	介護分※2
所得割額 ※3×税率		5.05%(4.76%)		1.30%(1.00%)		1.20%(1.15%)
均等割額 1人あたり		2万3,000円		1万円		6,900円
平等割額 1世帯あたり		1万9,200円 (1万8,000円)		4,800円		5,400円
限度額		50万円(47万円)		13万円(12万円)		10万円

※1 支援金分は、後期高齢者医療制度を支援するためのもので、加入者全員に賦課します。

※2 介護分は40～64歳の加入者に賦課します。

※3 21年中の総所得金額等－基礎控除33万円

※すべての資産割額を廃止しました。

納税通知書を6月中旬に送付します

現在、医療費の増大などにより厳しい財政運営となっています。この大切な財源である税収入を確保するため、ぜひ納期限内の納付にご協力ください。

後期高齢者医療制度に移行する人の国保税は

5月以降に75歳になり後期高齢者医療制度に移行する人の国保税は、誕生日の前月分までです。

離職した人の国保税を軽減します

倒産、解雇、雇止めなどで離職し、次のすべてに該当する人は、申告により、離職日の翌日から翌年度末までの期間、国保税を軽減します。なお、22年3月30日までに離職した人は、22年度に限り対象となります。詳しくは、お問い合わせください。

○国保加入者で、離職日が21年3月31日以降の人

○離職日において65歳未満の人

○雇用保険受給資格者証の離職理由コードが、次のいずれかに該当する人
 11、12、21、22、23、31、32、33、34

国保税の減免申請ができます

次のいずれかに該当し、世帯の所得等が基準以下の場合、国保税を減免します。納期限が過ぎた国保税は対象になりません。詳しくは、お問い合わせください。

○災害により著しい被害を受けた人

○会社都合の退職（解雇、会社倒産など）、事業不振・休廃業、疾病または公私の扶助を受けている人

○土地・家屋を売却して全額債務の返済にあてた人

人間ドック・脳ドック検診料を一部補助します

対象 国保加入中で、次のすべてに該当する人（22年4月2日～23年4月1日に後期高齢者医療制度に加入の今年度75歳になる人も含む）
 ○昭和10年4月2日～46年4月1日に生まれた人
 ○国保税に未納がない世帯

定員 人間ドック=4,900人、脳ドック=2,300人

補助予定金額 人間ドック=2万2,000円、脳ドック=1万円

※人間ドック、脳ドックともに年度内1人1回の補助になります。

受検期間 前期=7月1日～10月31日

後期=11月1日～23年3月31日

コース A=人間ドック、B=脳ドック、C=人間ドックと脳ドック

申し込み はがきか封書に住所、氏名（ふりがな）、生年月日、電話番号、保険証の番号（「記号10番号〇〇〇〇〇〇〇〇」の部分）、コース名（A、B、C）、受検期間（前期か後期）、「人間（脳）ドック補助」と書いて、5月31日（消印有効）までに国民健康保険課（〒252-5277 中央区中央2-11-15）へ

※利用券は6月下旬ごろに郵送します。

※期限後に申し込みをした人は、キャンセル待ちになります。

※家族（同一世帯員）2人以上で申し込む場合は、それぞれの氏名、コース名、受検期間を書いてください。

※市ホームページの「電子申請」からも申し込めます。

指定検診機関

※指定検診機関以外での受検については補助できません。

受検可能 ドック	指定検診機関		電話番号
	人間	脳	
○	○	JA健康管理センターさがみはら（緑区橋本）	046-229-3731 (問い合わせ専用電話)
○	○	社会保険相模野病院（中央区淵野辺）	042-751-1265
○	○	相模原総合健診センター（中央区淵野辺）	042-753-3301
○	○	ヘルス・サイエンス・センター（南区相模大野）	042-740-6200
○	○	☆東芝林間病院（南区上鶴間）	042-742-3521
○		相模原クリニック（中央区相模原）	042-758-6521
○		森下記念病院（南区東林間）	042-742-5222
○	○	北里大学健康管理センター（南区北里）	042-778-7777
○		さがみ循環器クリニック（南区相南）	042-746-2211
○		JA健康管理センターあつぎ（厚木市酒井）	046-229-3731
○	○	☆相模原中央病院（中央区富士見）	042-751-5348
○	○	津久井赤十字病院（緑区中野）	042-784-2429
○		総合相模更生病院（中央区小山）	042-752-1808
○		さがみ生協病院（南区相模大野）	042-743-3261

☆印の病院は脳ドックのみの受検はできません。

※検診内容・検査料など詳しくは各検診機関へお問い合わせください。

～安全・安心まちづくり～

防犯活動物品の購入を支援

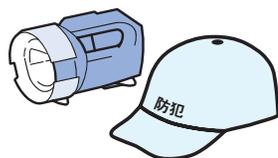
地域で行う自主的な防犯活動に必要な物品の購入経費を補助します。

対象 過去に同補助を受けていない、毎月定例的に活動する市民5人以上の団体（申込順）

対象物品 帽子、ベスト、ブルゾン、腕章、合図灯、防犯ブザー、懐中電灯など

補助額 購入金額の2分の1（限度額5万円）

※申請方法など、詳しくはお問い合わせください。



お問い合わせ
 生活安全課 ☎042-769-8229

日赤救急法養成講習会 〈全3回〉

AEDを用いた心肺蘇生法、止血法、包帯法、人工呼吸など。最終日の検定合格者は日赤救急法救急員に認定します。

日にち 6月5日(土)・12日(土)・13日(日)

時間 午前9時～午後5時

会場 あじさい会館

対象 市内在住か在勤・在学の15歳以上の人

定員 40人（抽選） **費用** 3,000円

申し込み 往復はがきに住所、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号を書いて、5月26日（必着）までに日赤相模原市地区（〒252-5277 中央区中央2-11-15 地域福祉課内 ☎042-769-9222）へ

洪水から守ろう みんなの地域 水防演習

洪水時に堤防を守る水防工法の演習や、自主防災組織による避難誘導訓練、水難救出救助訓練などを県や関係機関と合同で行います。

日時 5月30日（日）〈小雨決行〉

時間 午前9時～11時30分

会場 磯部頭首工下流広場（南区磯部）

※見学希望者は直接会場へ

※降雨体験車や自然災害体験車による疑似体験、展示・体験コーナーなどもあります。

お問い合わせ
 危機管理室 ☎042-769-8208

あなたの骨は大丈夫？



20歳から骨密度が測れるようになりました！

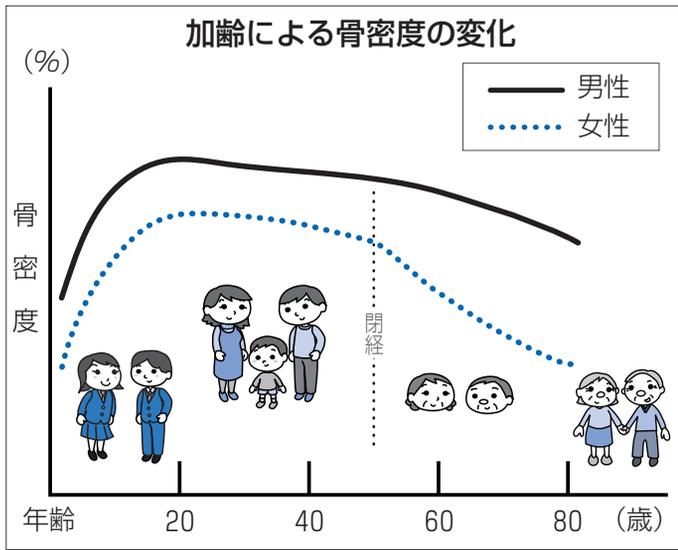


市では、骨密度測定結果などから、骨粗しょう症のリスクが高く予防が必要な、若い世代の骨粗しょう症や生活習慣病の予防などに重点を置き、今年度、「骨密度測定de骨元気アップセミナー」の対象を若い世代にも拡大して実施しています。

日ごろから心掛けられる食事や運動のポイントのほか、手軽に骨密度の測定や生活の振り返りができる教室をお知らせします。自分の骨密度を知り、生活習慣を見直すことで骨粗しょう症を予防し、元気な生活を送りましょう。

なぜ20歳から、骨密度を測るのでしょう？

それは、将来の“骨”と“カラダ”が決まるからです！



骨粗しょう症の目安となる骨密度は、左の図のように10歳代後半～20歳ごろに最大になり、40歳ごろまで維持されます。しかし、若いころからの運動不足や偏った食事によるカルシウム不足、無理なダイエット等により、特に女性は閉経を過ぎると骨密度が維持できなくなり、「腰が痛い」「ちょっと転んだら骨が折れてしまった」など“カラダ”に支障が出てしまいます。

また、妊娠中や授乳中は、母親の体から赤ちゃんへカルシウムが移り、骨密度が低くなる傾向があるにもかかわらず、育児で自分の体のことは後回しになりがちです。

今、骨密度が減少する前に、手を打つことが大切です。

LET'S 骨チェック！

あなたの骨は大丈夫？

- 腰や背中が痛む
- 腰や背中が丸くなってきた
- 背丈が縮んだような気がする
- 転倒やささいな事で骨折したことがある
- 運動や散歩の習慣がない
- 牛乳や乳製品をほとんどとらない
- 海藻、豆腐、大豆製品、緑黄色野菜をほとんどとらない
- 急激なダイエットをしたことがある
- 大量にお酒を飲むことが多い
- ヘビースモーカーである
- 閉経している

当てはまる項目が多いほど、骨粗しょう症になりやすいか、すでになっている可能性があります。

骨粗しょう症を予防するには

食事	<p>○バランスの良い食生活をしましょう 主食・主菜・副菜がそろっていると、カルシウムを効率よく吸収します。</p> <p>○カルシウム吸収率の良い食品を選びましょう 例) ●乳製品(牛乳・チーズ) ●大豆製品(豆腐・油揚げ) ●小魚・海藻類(しらす・ひじき) ●青菜類(小松菜)</p> <p>お勧め食品(カルシウム量の多い食品) ・スキムミルク(低カロリーでお手軽です) ・絹ごし豆腐より木綿豆腐(カルシウム量が約3倍) ・ほうれん草より小松菜(カルシウム量が約3.5倍)</p>	
運動	<p>○骨に重み(負荷)のかかる運動は骨を強くします 例) 寝るより座る→座るより立つ→立つより歩く→歩くより走る</p> <p>○できる運動から始めましょう 例) 散歩、ウォーキング(速歩)、ジョギング</p>	
定期的な測定	<p>骨は1年間に30%程度生まれ変わるため、3年に1回ぐらいの測定が好ましいと言われています。測定の方法には、超音波法やX線、CTがあります。「骨密度測定de骨元気アップセミナー」に参加して測定しましょう。 ※骨密度測定を行っている医療機関でも測定できます。</p>	

骨粗しょう症とは？

骨粗しょう症とは、カルシウムが不足して骨がスカスカになり、もろくなる状態です。この状態になると痛みなどがなくても、骨折しやすくなります。

骨密度とは？

骨の強度をあらわすもので、骨に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分の量です。この骨の強度が弱くなると、骨粗しょう症と診断されます。

なぜ、骨密度は減っていくの？

骨は、骨の細胞によって、壊されたり新しい骨を作ったりを繰り返して行っています。ところが、「加齢により骨を作る働きが弱まる」「運動量が減る」「カルシウムをとる量が不足する」「閉経などで骨を作る量よりも壊す量のほうが多くなる」と、骨からカルシウムの量が減ってしまいます。

● 骨密度測定de骨元気アップセミナー ●

骨粗しょう症を予防するための生活習慣についての講話と、超音波による骨密度測定を行います。自分の骨密度を知り、生活を振り返りませんか。

	日にち	時間	会場	定員(申込順)	受付開始日
①	6月23日(水)	午後1時30分、2時	相模湖総合事務所	各15人	6月1日
②	6月30日(水)	午前9時45分、10時15分、10時45分、午後1時30分、2時	シティ・プラザはしもと	各30人	
③	7月2日(金)		南保健福祉センター		
④	7月30日(金)		ウェルネスさがみはら		
⑤	9月28日(火)	午後1時30分、2時	南保健福祉センター	各20人	7月1日
⑥	10月26日(火)				10月1日
⑦	11月12日(金)	午後1時30分、2時	津久井保健センター	各20人	10月15日

対象 市内在住の20～70歳(昭和15年4月2日～平成3年4月1日生まれ)の人

費用 各700円(骨密度測定料)

申し込み 電話で受付開始日から各担当課へ

	担当課	電話番号
②	緑保健センター	042-775-8816
④⑤	中央保健センター	042-769-8295
③⑥	南保健センター	042-701-7708
⑦	津久井保健福祉課	042-780-1414
①	相模湖保健福祉課	042-684-3216



かかとで簡単、短時間に骨密度を測定

※12月以降の日程などは、後日、本紙などでお知らせします。

年代別骨粗しょう症予防のポイント

10歳代以下	骨が形成される時期です。カルシウムをしっかりとり、運動をして骨密度を高めましょう。
20～30歳代	20歳代で骨密度が最大になり、維持する時期です。妊娠・授乳期はカルシウムが不足しやすいので、意識してカルシウムをとることや運動を心掛けましょう。
40～50歳代	特に女性は閉経以降、骨からカルシウムが溶け出すのを防ぎ、骨量を増やす作用のある女性ホルモン(エストロゲン)が少なくなり、骨密度が低くなる時期です。骨密度の低下を食事や運動で出来るだけ緩やかにしましょう。
60歳代以上	年を重ねると、カルシウムの吸収率が低下しますが、食事と運動を工夫することで骨量を保つことはできます。また、転倒による骨折の可能性が高くなりますので、筋力を保つ運動も合わせて行いましょう。

記録！表現！記憶！
未来へ可能性を備えた“写真”

市総合写真祭「フォトシティさがみはら2010」

アマチュアの部 作品募集

市総合写真祭「フォトシティさがみはら」は、市民が優れた芸術文化に触れたり、写真を通じたイベントに参加したりと、子どもからお年寄りまで誰もが見て参加して気軽に楽しめる祭典です。祭典のメインを飾る10月の写真展では、プロ写真家とアマチュア写真愛好家の入賞・入選作品を展示します。

昨年は、市内をはじめ全国の写真愛好家の皆さんから、4,000点以上の作品が寄せられました。市民の皆さんを対象にした「市民奨励賞」もあります。皆さんの応募をお待ちしています。

テーマ 自由

サイズ モノクロ、カラー写真ともに六つ切～四つ切（ワイド可）プリント（デジタルプリントの場合はA4サイズも可）

応募点数 制限はありません。組み写真は3枚までを1組として構成し、作品の順番・位置がわかるように書いて、セロハンテープなどで貼り付けてください。

応募方法 写真1点ごとに、題名（ふりがな）、撮影データ、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号を書いた応募票（自作可）を裏面に貼り、6月30日（必着）までにフォトシティさがみはら実行委員会へ

審査結果 入賞入選者には直接通知するほか、8月中旬以降に新聞や市ホームページ、カメラ雑誌などで発表する予定です。

賞・副賞 金賞（1人）20万円、銀賞（2人）10万円、銅賞（3人）5万円、市民奨励賞（1人）5万円、入選（50人）5,000円の商品券

※入賞入選者には、賞状・楯のほか、上記の副賞を贈呈します。

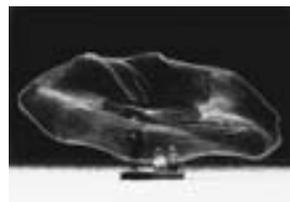
その他

- 作品は他のコンテストでの受賞歴などがない作品に限ります。また、類似作品、二重応募とみなされるものも応募できません。
- 出品料などは必要ありません。
- 撮影する被写体（特に人物）の肖像権などの責任は負いかねますので、応募者が了承を得てください。
- 入賞入選作品の発表に伴い、作者の氏名などを公表します。
- 入賞入選作品の著作権は作者に帰属しますが、主催者が新聞、雑誌やWebサイトなどに使うことができますものとします。
- 入賞入選作品は、相模原市民ギャラリーのほか、市内巡回展で展示します。
- 入賞入選作品は、後日指定した期日までに応募者が所定の大きさ（半切～大全紙）にプリントし、再提出してください。ただし、組み写真は所定の大きさの額にすべての写真（2・3枚）が収まるようプリントし、再提出してください。なお、作品は市へ寄贈していただきます。
- 作品提示に伴うマット加工や額装は主催者が行います。
- 応募作品の返却を希望する場合は、あて先を書いた返信用封筒に切手を貼り同封してください。返却は10月ごろです。
- 応募者の個人情報フォトシティさがみはらに関する情報提供のみに使います。

昨年のアマチュアの部の入賞作品



金賞 「頑張れ」
向後 寛治
(千葉県)



市民奨励賞 「落ち鮎」
新井 信行
(中央区上矢部)

お問い合わせ フォトシティさがみはら実行委員会事務局(文化振興課内) 〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-769-8202

みどりの協会の催し

お問い合わせ ☎042-777-2860

みどりの講習会〈全5回〉

～鉛筆から始める
ポタニカルアート(植物画)～

鉛筆を使ったポタニカルアートを初心者向けに基礎から学びます。色付けは行いません。

日にち 6月1日～29日の
毎週火曜日

時間 午前の部＝10時～正午
午後の部＝1時～3時

会場 環境情報センター

定員 各20人(申込順)

費用 各500円

申し込み 電話で同協会へ



あじさいボランティア

相模原麻溝公園、相模原北公園、市役所前通りのアジサイの手入れをします。

日時 原則、土曜日の午前で
月2・3回程度(6月・7月は4・5回)

定員 15人程度(申込順)

申し込み 電話か、はがき、ファクスに住所、氏名、年齢、電話番号、「あじさいボランティア」と書いて、同協会(〒252-0328 南区麻溝台2317-1 ☎042-777-2861)へ

樹木の探偵団と公園の樹木めぐり

花や若葉が美しい、この時季に、樹木の探偵団と公園をめぐり、150種を超える樹木を観察します。

日にち 6月6日(日)
時間 午後1時～3時30分

会場 相模原北公園

対象 中学生以上の人

定員 30人(申込順)

申し込み 電話で同協会へ



市民公開講座

「教育活動と食に関する指導」

学校における食育推進の必要性や、食に関する指導のポイントを学びます。

日時 6月1日(火) 午後3時～5時

会場 総合学習センター

対象 市内在住か在勤・在学の高校生以上の人＝30人(申込順)

申し込み 電話で5月26日までに同センター(☎042-756-3443)へ

※未就学児(2歳以上)の保育あり(要予約)



協働事業提案制度 7月1日に軽度の発達障害児対象 放課後クラブがオープン

箱庭などを使ったカウンセリングや、グループカウンセリング、自然体験を行います。

所在地 中央区中央2-7-9

時間 午後2時30分～6時30分

※夏休みなど、長期休暇期間は午前10時～午後6時30分になる日もあります(追加負担金が必要になります)。

対象 市内在住で自力通所ができ、障害児の認定を受けていない小・中学生

定員 40人(選考)

※1人週3回まで利用可。1日当たりのクラブ利用定員は24人

費用 月額15,500円(おやつ代2,000円を含む)

申し込み 電話で太陽の村(☎042-707-0160)へ

相模女子大学子育て支援センター開設記念講演会 発達障害と子育て支援

日にち 6月5日(土)

時間 午前9時30分～午後0時30分

内容 「発達障がい児の理解と援助のあり方」

講師 尾崎康子さん

(相模女子大学教授)

「コミュニケーション力と社会性の発達」

講師 トート・ガーボルさん

(相模女子大学准教授)

会場 相模女子大学7号館711教室

定員 100人(申込順)

申し込み ファクスかEメールに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、ファクス番号、「講演会参加申し込み」と書いて、5月21日(必着)までに同大学(☎042-747-9603 ☎042-713-5022 Eメール kosoda teshien@mail2.sagami-wu.ac.jp)へ

女子美アートミュージアム

「日本画をまなぶー女子美術学校における日本画教育」展

1900年の創立時から戦前までの日本画科教員・学生作品を展示します。

期間 6月6日(日)まで
く火曜日休館

時間 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

費用 300円(学生、未就学児、65歳以上の人、身体障害者手帳を持っている人は無料)



柿内 青葉
「月見草咲く庭」

お問い合わせ

同ミュージアム ☎042-778-6801

市の手続き、イベントや施設のお問い合わせに…



ちょっとおしえてコール相模原

☎042-770-7777
FAX 042-770-7766

午前8時～午後9時 年中無休
※おかけ間違いにご注意ください。



特集 みんなで支える子どもの笑顔 子どもと家庭の相談・支援体制が充実

子どもと家庭の身近な総合相談窓口として、4月から各区にこども家庭相談課を設置しました。また、より専門的な相談や支援を行う児童相談所が県から市の機関になり、子どもに関するあらゆる相談に市が一貫してかかわることで、より迅速な対応ができるようになりました。このほかに里親制度など、政令指定都市への移行に伴い新しくなった、市の子どもと家庭に関する相談・支援体制を紹介します。

相談は解決の第一歩です

児童相談所長 江森 静子

まずは相談してください

近年、核家族化や地域の交流が希薄化する中、多くの家庭が孤立したまま子育てをする傾向にあります。このため、子どもにどのようなしつけをしたらよいかわからないなど、子育てに関する悩みや不安を抱く親が増えています。

子育ての不安や悩みは、どの家庭にもあるものです。相談は問題解決の第一歩ですので、ひとりで悩みを抱えずに、まずはこども家庭相談課に相談してください。各区に設置した、身近な相談窓口であるこども家庭相談課では、育児や子育てに関するさまざまな相談を受け付けています。また、県から市の機関になった児童相談所では、18歳未満のすべての子どもに関する不安や悩み、非行の問題など幅広い相談に応じるとともに、それぞれの問題解決に必要な専門的な援助を行っています。

ちょっと気になる そんなときは連絡を

全国で子ども虐待に関する痛ましい事件が、連日のように報道されています。子どもの様子などから、「虐待では?」と思ったとき、また、虐待を発見したときには、各区のこども家庭相談課か児童相談所に連絡してください。

深刻な状況になることを防ぐためには、早めの発見と対応が必要になります。「もし、違っていたら?」と不安になる必要はありません。連絡をした人が責任を問われることもありませんので、ぜひ、ご協力をお願いします。

家庭で生活できない子どもたちのために

さまざまな理由によって家庭で生活できない子どもたちは、一時保護を経て児童養護施設や里親のもとで生活することになります。

少子化が進む中で、こうした子どもの数は、年々増加しています(図参照)。

このため、市では施設の設置と、里親登録者の拡大に取り組んでいます。特に里親制度は、より家庭に近い生活の場として必要とされていますが、養護を必要とする子ども数に対して、不足している状況です。里親になってくださる人や、里親について知りたい人は、児童相談所か家庭養育支援センターに相談してください。

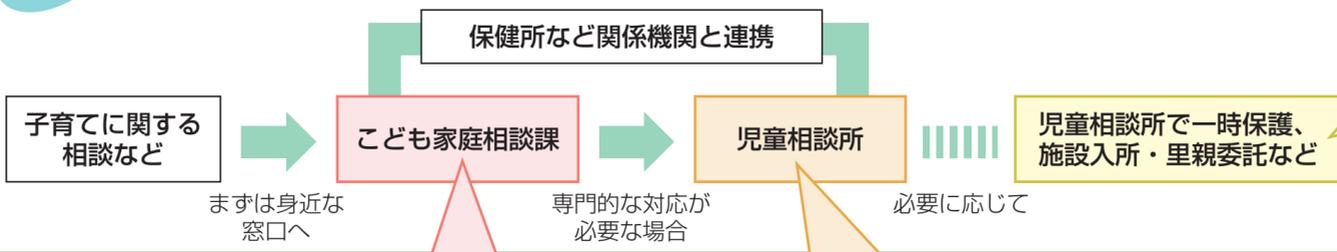
子どもの最善の利益を守るために

児童相談所では、「子どもの最善の利益」を守るために、与えられた権限を行使し、子どもの安全確認、安全確保を最優先した対応をとることもあります。

子どもたちの健やかな成長や発達を保障していくため、市民の皆さんの期待に応えられるよう、職員一同全力で取り組んでいきます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

その1 相談から支援まで切れ目ない迅速な対応になりました



その2 身近な窓口でさまざまな子育て相談ができます こども家庭相談課

こんな相談ができます

①子どもとその家庭、母子・父子家庭などの相談

育児やしつけなど子育てのさまざまな相談、母子・父子家庭の生活一般に関する相談や、母子・寡婦福祉資金の貸し付けの相談などを受け付けます。また、相談内容に応じて、専門的な相談機関などを案内します。

②子どもの発達や障害についての相談と療育支援

ことばや運動などの遅れ、落ち着きがない、ほかの子とうまく遊べないなどの相談を受け付けます。また、年齢や発達に応じたグループ支援、個別支援、リハビリテーション支援等を行います。

③保育所の入所相談、各種手当などの申請

保育所の入所相談や、子ども手当、児童扶養手当などの申請を受け付けます。



相談先 各区のこども家庭相談課へ

	緑こども家庭相談課 緑区橋本6-2-1 シティ・プラザ はしもと内5階	中央こども家庭相談課 中央区富士見6-1-1 ウェルネスさがみはら1階	南こども家庭相談課 南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター内
①	☎042-775-8815	☎042-769-9221	☎042-701-7700
②	☎042-783-8129※1	☎042-756-8424※2	☎042-701-7727
③	☎042-775-8813	☎042-769-9267	☎042-701-7723

※1 相談先は、緑区久保沢2-26-1 城山保健福祉センター1階

※2 相談先は、中央区陽光台3-19-2 陽光園内

相談日時 月～金曜日(祝日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時

※発達や障害についての来所相談は予約が必要です。その他の来所相談も、できるだけ事前に電話してください。

子どもへの虐待を防ぐために

市では、子どもへの虐待を防止するためにさまざまな対応をしています。相談や通告などは、その子どもが住んでいる区のこども家庭相談課か児童相談所、「こども虐待110番」に連絡してください。



通告(相談)窓口

緑こども家庭相談課 ☎042-775-8815
 中央こども家庭相談課 ☎042-769-9221
 南こども家庭相談課 ☎042-701-7700
 児童相談所 ☎042-730-3500

24時間通告(相談)窓口

こども虐待110番 ☎042-730-3511

その3 より専門的な子育て相談ができます 児童相談所

児童相談所とは

福祉や心理などの専門スタッフが、18歳未満の子どもに関するさまざまな相談に応じ、必要な援助を行います。調査や心理検査、医師による診察を行い、その結果から、子どもの育て方を話し合います。また、必要に応じて、子どもを短期間、児童相談所で預かり、生活指導や行動観察を行うほか、施設入所や里親委託を行います。

こんな相談ができます

- 養護相談 保護者がいない・病気など、さまざまな事情で家庭で育てることが難しい子どもに関する相談
- 障害相談 肢体不自由や心身の発達が遅れていると思われる子どもに関する相談
- 非行相談 乱暴、万引きなど、非行傾向のある子どもに関する相談
- 育成相談 落ち着きがない、ほかの子とうまく遊べない、不登校などの心配がある子どもに関する相談

このほか、子どもの一般的な健康管理に関する相談や、里親になりたい人の相談などに応じています。

相談先 児童相談所
 中央区淵野辺2-7-2
 ☎042-730-3500

相談日時 月～金曜日(祝日、
 年末年始を除く)午前
 8時30分～午後5時
 ※来所相談の場合は、できるだけ
 事前に電話してください。



その4 家庭で生活できない子どもを育てます 里親制度

里親とは

親の病気や離婚、虐待などさまざまな事情により、家庭で生活できない子どもを里親家庭に迎え入れ、愛情と誠意を持って子どもを育ててくれる人を里親と言います。里親制度は、児童福祉法に基づいて、里親に子どもの養育をお願いする制度です。

子どもの養育をお願いしている間は、定められた額の養育に必要な経費が支払われます。何か困ったことがあれば、児童相談所や家庭養育支援センターの職員が、いつでも相談に応じるほか、都合により一時的に休むこともできます。



里親には次のような種類があります

- 養育里親 保護者がいないなど、事情により保護者と一緒に暮らすことができない子どもを、子どもの福祉を優先して養育する里親
- 専門里親 虐待などで心身に影響を受けた子どもや、非行等の問題がある子ども、身体・知的・精神障害のある子どもを養育する里親(養育里親の認定などが必要)
- 親族里親 両親など、子どもを養育する人が死亡や行方不明などになり、その子どもの祖父母など3親等以内の親族が養育する里親
- 縁組里親 養子縁組をして養親になることを希望する里親

里親になって

市内在住 里親Sさん

里親生活20年になろうとしています。多くの子どもたちと出会い、里親子の縁を結んできました。里子が初めて我が家に来るときは、毎回とても不安で暗い表情をしています。その子たちが、笑顔を見せ始め、わがままを言い出し、いつか、いるのが自然の家族になっていきます。

昨年、我が家に来た子が、今年来た年下の子に、そっと、「心配ないよ、ずーっとここにいられるからね。」と話していました。年下の子は、少しホッとしたようでしたが、本当にうれしかったのは、それを聞いていた私です。

里親生活は、子どもたちだけでなく、私たち自身にも、多くの喜びを残してくれます。孫のいる年になっても、お母さんと暮ってくれる小さな子たちに囲まれて、これ以上の幸せはないと思います。そして、子育て中に知り合った知人、友人、温かい目で見守ってくれる近所の人たち、その人たちの優しさを感じとれることは本当に喜びです。

さて、今いるこの子たちは、どんな笑いと涙、そして、出会いを持ってきてくれるでしょう。今から楽しみです。

あなたも里親になりませんか

子どもができるだけ地域の中で家庭生活が送れるように、市では里親を募集しています。里親になりたい人や、里親について知りたい人は、児童相談所か家庭養育支援センターに相談してください。巡回相談も行っています。

○児童相談所 中央区淵野辺2-7-2 ☎042-730-3500

○家庭養育支援センター 里親制度の普及や里親支援を行っています。児童養護施設 中心子どもの家内 中央区田名10125 ☎042-764-7046

里親巡回相談日程

日にち	会場
6月19日(土)	児童相談所
29日(火)	あじさい会館
7月17日(土)	児童養護施設 中心子どもの家
22日(木)	児童相談所
8月10日(火)	児童相談所
28日(土)	あじさい会館
9月9日(木)	児童相談所
25日(土)	児童養護施設 中心子どもの家

時間 午後2時～4時30分
 ※希望者は直接会場へ
 ※10月以降の日程は、児童相談所にお問い合わせください。

図書館は情報玉手箱！

橋本図書館

布えほん展

手作りの布えほんや布おもちゃの展示と、おはなし会

日にち	時間	
	①展示	②おはなし会
5月22日(土)	午後1時～4時30分	午後2時
23日(日)	午前10時～午後4時	午前11時 午後2時

会場 ①同図書館 録音図書コーナー
②ミウィ橋本5階コミュニティルーム
※希望者は直接会場へ

お問い合わせ
橋本図書館 ☎042-770-6600

相模大野図書館

おはなし地球儀～絵本は世界のパスポート～

フィリピンの本の読み聞かせと、子どもたちの様子や文化などを紹介します。

日時 5月29日(土) 午後2時～3時

対象 小学生=40人(先着順)

※希望者は直接会場へ



図書館活用講座

「これでスッキリあなたのお家 ～ものの整理は心の整理～」

家の中を整理整頓するために役立つ資料を紹介します。

日時 6月3日(木) 午前10時～正午

定員 30人(申込順)

申し込み 直接か電話で同図書館へ

お問い合わせ 相模大野図書館 ☎042-749-2244

橋本図書館のビジネス支援

相模大野図書館で 出張カウンセリングを実施！

起業など豊富な経験を持つNPO法人のカウンセラーが、起業をめざす人にアドバイスします。

日にち 6月5日(土)

時間 午前10時・11時30分

午後2時・3時30分

対象 趣味や特技、経験を生かして起業などを考えている人

定員 各1人(申込順)

申し込み 直接か電話で橋本図書館(☎042-770-6600)へ

視聴覚ライブラリーの催し

相模原なつかし映画館

昭和に制作された市勢映画などを上映します。

日時 6月11日(金) 午後2時～4時

上映作品 「読売国際ニュース(昭和30年代)」 「映像でつづる昭和史 昭和16年～20年」 「私たちの郷土相模原・地理編」、昭和58年度文化財記録映画「さがみはらの養蚕」「上溝祭典ノ部(昭和16年)」



さがみはらの養蚕



上溝祭典ノ部

お楽しみ時代劇鑑賞会

日時 6月12日(土) 午前10時30分～11時15分

上映作品 風間杜夫主演の「銭形平次」第2話「涙は無月・忍術父娘」

月例子ども映画会

日にち 6月12日(土)

時間 午後2時～3時30分

上映作品 「ちびまる子ちゃんツバメよ来い来い」「ぶんぶくちやがま」「こびとといもむし」「プーさんと虎」

※幼児は保護者同伴



©北星株式会社

対象 市内在住か在勤・在学の人

定員 各180人(先着順) ※希望者は直接会場へ

お問い合わせ 視聴覚ライブラリー ☎042-753-2401

あじさい(高齢者)大学 学生を再募集

学科	内容	曜日	時間	会場
詩吟	詩吟の基礎と実習	月曜日	午前9時45分～11時45分	青少年学習センター
教養	家畜・動物学から学ぶもの			麻布大学
文芸	短歌の鑑賞と実習	火曜日	午後1時30分～3時30分	あじさい会館

受講期間 5月下旬～平成23年2月ごろ(全24回)

対象 市内在住の60歳以上の人=各若干名(申込順)

費用 各6,000円(教材費は別)

申し込み 電話で5月17日から高齢者福祉課(☎042-769-9231)へ

旧石器ハテナ館 体験教室 弓矢を作って遊ぼう！

竹で弓矢を作ります。弓矢が完成したら実際に的当てをして、古代の狩猟について学びます。

日時 6月6日(日) 午後2時～4時

定員 30人(申込順)

申し込み 電話で同館(☎042-777-6371)へ



小学生講座

プチロボで競争しよう 相模原大会

自分で作ったプチロボットを操縦して競争します。

日時 6月19日(土) 午前10時～午後4時

会場 青少年学習センター

対象 市内在住か在学の小学校3～6年生

定員 20人(抽選)

費用 1,050円(材料費) ※昼食は各自持参

申し込み 往復はがきに(1枚で1人まで)住所、氏名(ふりがな)、学年、電話番号を書いて、6月5日(必着)までに同センター(〒252-0207 中央区矢部新町3-15 ☎042-751-0091)へ



古典を学ぶ講座

「徒然草」をのぞいてみる(全4回)

日にち 6月9日～30日の毎週水曜日

時間 午後6時30分～8時30分

会場 サン・エールさがみはら

定員 20人(抽選)

費用 500円

申し込み 往復はがきに住所、氏名、電話番号を書いて、5月24日(必着)までに同所(〒252-0131 緑区西橋本5-4-20 ☎042-775-5665)へ

ふれあい体験学習 希望の村

体験学習を通して人とふれあい、集団への適応力を高めます。

日時 6月19日(土) 午前10時～午後4時

会場 相模川ビレッジ若あゆ

対象 市内在住・在学の不登校や登校しづりの小・中学生とその保護者

定員 60人(申込順)

費用 500円(昼食代)

申し込み 電話で5月17日～6月4日に青少年相談センター(☎042-769-8285)へ

みんなの
スポ・レク情報

運動して 毎日健康!

さがみはらグリーンプール



無料開放

日時 5月23日(日) 午前9時～午後9時30分

午後の水泳〈全8回〉

ゆっくりとした水中運動や水泳動作を行います。

日にち 6月4日(金)・7日(月)・9日(水)・16日(水)・18日(金)・21日(月)・23日(水)・25日(金)

時間 午後1時30分～2時30分

対象 60歳以上の人

定員 20人(申込順)

費用 5,000円

はじめてのビーズアクセサリ講座

ビーズで星型のストラップを作ります。

日にち 6月12日(土)

時間 午前10時～正午

対象 小学生以上の人

※小学校1～3年生は保護者同伴

定員 20人(申込順)

費用 1,000円

フォームチェック〈全4回〉

泳ぎを水中カメラでチェックし、指導します。

日にち 6月7日(月)・21日(月)、7月5日(月)・19日(祝)

時間 午後6時～7時30分

対象 18歳以上の人

定員 20人(申込順)

費用 2,500円

健康講座

簡単な運動を行い、運動不足を解消します。

日時 6月7日(月) 午前11時～正午

対象 60歳以上の人

定員 20人(申込順)

費用 200円(65歳以上の人・障害者は無料)

申し込み 直接か電話で同プール(☎042-758-3151)へ

銀河アリーナ



①初級水泳教室〈全10回〉

参加者のレベルにあわせたクラス編成で、水泳の基礎的な技術を学びます。

日にち 6月14日～8月16日の毎週月曜日

時間 午前10時～正午

対象 16歳以上の人

定員 60人(抽選)

費用 4,000円

③アクアビクス教室〈全10回〉

プールに入り、音楽にあわせて有酸素運動をします。

日にち 6月16日～8月18日の毎週水曜日

時間 午後1時30分～3時

対象 18歳以上の人

定員 20人(抽選)

費用 4,500円

②日赤水上安全法講習会〈全4回〉

人命救助と水の事故防止についての知識や技術を学びます。

日にち 6月15日(火)～18日(金)

時間 午前9時～午後5時30分

対象 県内在住の18歳以上の人で、クロール・平泳ぎともに500m以上泳げる人

定員 30人(申込順)

費用 3,500円

④キッズ水泳教室〈全5回〉

参加者のレベルにあわせたクラス編成で指導します。

日にち 6月21日(月)～25日(金)

時間 午後3時30分～5時

対象 4歳以上の未就学児

※保護者の送迎が必要

定員 30人(抽選)

費用 3,500円

申し込み ①③④往復はがきに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、教室名を書いて5月31日(必着)までに、②直接か電話で、6月10日までに、同アリーナ(〒252-0229 中央区弥栄3-1-6 ☎042-776-5311)へ

市民健康文化センター



水泳脂肪燃焼教室〈全3回〉

腰まわりの運動をして、ウエストの引き締めをめざします。

日にち 6月9日～23日の毎週水曜日

時間 午後1時～2時

対象 18歳以上の人

定員 40人(申込順)

費用 1,500円

親子水泳教室〈全3回〉

親子で水泳を楽しみます。

日にち 6月12日～26日の毎週土曜日

時間 午前10時～11時

対象 小学校1～4年生の子どもとその保護者

定員 15組(申込順)

費用 2,000円

申し込み 直接か電話で同センター(☎042-747-3776)へ

みんなで歩こう! 〈小雨決行〉

■拜島大師と多摩川〈16km〉

日にち 5月18日(火)

集合 午前9時20分までにJR・西武拜島駅北口

解散 午後2時30分ごろ同駅

費用 500円

■ウォーキング教室(エンジョイウォーク)〈10km〉

日にち 5月20日(木)

集合 午前9時20分までに橋本駅北口

解散 午後2時ごろ同駅 費用 200円

■清流・相模川〈①40km・②20km・③10km〉

日にち 5月30日(日)

集合 ①午前8時までに橋本駅北口、②③午前9時までに橋本駅南口

解散 午後4時ごろ同駅 費用 各500円

※希望者は昼食、飲料水を持って直接集合場所へ
お問い合わせ 市ウォーキング協会 ☎090-4134-5808

市体育協会からのお知らせ

市内スポーツ大会を観戦してスタンプを集めよう!

対象のスポーツ大会を観戦し、スタンプを3個以上集めて、10月11日(祝)のスポーツフェスティバルに持参すると、記念品をプレゼントします。
※対象のスポーツ大会など詳しくは、市体育協会ホームページをご覧ください。

市民選手権大会

■ボウリング

日時 6月6日(日) 午前8時30分

会場 相模ファーストレーン

種別 ①一般の部(男女別で年代別)②ジュニアの部(小・中学生、高校生の男女別)

費用 ①1,500円②1,000円

申し込み 直接、5月29日までに市内の各ボウリング場へ

■弓道

日時 6月13日(日) 午前9時30分

会場 北総合体育館

申し込み 電話で5月29日までに市体育協会へ

■サッカー(小学生)

日時 6月20日(日)～7月4日(日) 午前9時

会場 相模原麻溝公園競技場ほか

申し込み 市体育協会にある申込用紙を5月23日までに同協会へ

■水泳(一般・高校生・中学生)

日時 7月4日(日) 午前9時

会場 さがみはらグリーンプール

申し込み 市体育協会にある申込用紙を6月6日までに同協会へ

新譜盆踊り普及講習会

日時 5月19日(水) 午後1時30分～4時30分

会場 市体育館(市役所前) 費用 500円

※希望者は直接会場へ

初心者弓道教室〈全10回〉

日にち 6月2日～8月4日の毎週水曜日

時間 午後7時～9時

会場 市体育館(市役所前) 費用 5,000円

対象 市内在住か在勤の18歳以上の人=25人(申込順)

申し込み 電話で5月28日までに市体育協会へ

かながわペタンク祭

日時 6月13日(日) 午前8時30分～午後3時30分

会場 相模原麻溝公園スポーツ広場

費用 大人500円、小学生～高校生100円、未就学児無料
※希望者は直接会場へ

市体育協会 ☎042-751-5552
〒252-0236 中央区富士見6-6-23 けやき会館内
HP <http://www.jade.dti.ne.jp/~taikyo/>

情報 あら・かると

市役所 ☎042-754-1111(代)

お知らせ

ドリームジャンボ宝くじ 6月4日まで販売

市内で購入された宝くじの収益金の一部は、本市のさまざまな事業の財源になります。ぜひ、市内の宝くじ売場でお買い求めください。

問財務課

市営住宅入居者募集のしおり配布

日 6月1日(火)～15日(火)
配布場所 住宅課、緑・南区役所、各まちづくりセンター・出張所・連絡所など

申 6月2日(水)～15日(火)
※募集する住宅など詳しくは、本紙6月1日号でお知らせします。
問コールセンター(☎042-770-7777)

市政に関する世論調査にご協力を

5月下旬に市内在住の20歳以上の3,000人を無作為に抽出し、調査票を郵送します。対象者になった人はご協力をお願いします。

問広聴広報課

都市計画素案の縦覧と公聴会の公述申し出・傍聴

津久井都市計画道路(3・3・1号城山津久井線)の変更素案の縦覧・公述申し出 5月17日～31日に、直接、都市計画課へ公聴会

時 7月7日(水)午後7時
会 津久井中央公民館
公述人資格 市内在住の人と同様に利害関係のある人(法人を含む)
定 10人程度(抽選)
※傍聴希望者は直接会場へ。公述申し出がない場合は中止します。
問都市計画課

生産緑地地区追加指定の相談と受付

対 市街化区域内に農地を所有している人
随時受け付けていますが、今年度の追加指定を希望する人は、直接6月18日までに都市計画課(☎042-769-8247)へ

子犬・子猫の譲渡会と犬のしつけ相談

日 6月6日(日)〈雨天決行〉
会 衛生試験所の北側に隣接する建物(中央区富士見1-3-41)

譲渡会
時 午後1時～1時30分

対 ①譲りたい人②欲しい人ともに市内在住の20歳以上の人。①子犬・子猫は生後約2～5か月で、1週間前までに市獣医師会所属の動物病院で健康チェックと駆虫(実費約500円)を受けてください。②印鑑と健康保険証などの住所・氏名を証明する書類、2,000円〈個体識別用マイクロチップ代〉が必要
しつけ相談 犬の基本的なしつけ方の指導と相談

時 午後1時30分～2時
※当日愛犬は同伴不可
問 市獣医師会譲渡会事務局(若草どうぶつ病院 ☎042-743-3873)か生活衛生課

市民・行政協働運営型市民ファンド「ゆめの芽」平成21年度事業報告会

日 6月12日(土)
時 午後1時30分～3時30分
会 けやき会館 定 80人(先着順)
※希望者は直接会場へ
問 同事務局(相模原法律事務所内 ☎042-752-0885)

相模・道志・城山ダムの洪水対応演習

スピーカー放送、サイレンの吹鳴、電光掲示板の点灯など
※洪水演習に伴うダムゲートからの放流は行いません。
日 5月19日(水)
時 午前9時30分～午後4時30分
問 県企業庁相模川水系ダム管理事務所(☎042-782-2831)

募集

市路上違反広告物追放推進員

路上違反広告物(はり紙・はり札等)の除却やパトロールを行うボランティア
活動期間 8月～平成24年7月で、昼間月1回程度の活動を予定

対 市内在住か在勤の18歳以上の人で2人以上のグループ=40人程度(申込順)

申 直接か電話で、5月17日から道路管理課(☎042-769-8262)へ

市立緑第一障害者地域活動支援センターの指定管理者

指定期間 平成23年4月1日～26年3月31日

※申請資格など詳しくは募集要項をご覧ください。

募集要項の配布 5月25日～6月25日に障害福祉課

※市ホームページの「市政情報」→「市政運営」→「指定管理者制度」からもダウンロード可

申 募集要項に付いている申請書などを、7月20日～8月20日に、障害福祉課(☎042-769-8355)へ

国際化推進事業を支援

市民団体が国際化を進めるために実施する事業に支援金を交付

事業名	支援金額
国外都市交流	1人5,000円(上限1事業10万円)
国内交流	1事業につき事業費の3分の1以内(上限15万円)
国際協力	1事業につき事業費の3分の1以内(上限15万円)

申 渉外課にある申請書を同課(☎042-769-8207)へ

大野南地域包括支援センターの①職員②非常勤職員

勤務 ①週5日で午前8時30分～午後5時30分②週3日で20時間

対 社会福祉士か介護支援専門員、保健師のいずれかの資格がある人=①2人②1人

申 5月17日から電話連絡の上、履歴書を直接同センター(☎042-766-1700)へ

※受付時に簡単な面接を実施

保育所保育料収納推進員

保育料の徴収と関連事務
勤務 月8日間で、午後3時～7時か、午後4時～8時
賃金 月額3万8,400円

対 市内在住で、普通自動車運転免許がある市税等の滞納がない人

定 1人
申 電話で5月17日～31日に保育課(☎042-769-8341)へ

※後日面接あり

南保健福祉センターの非常勤看護師

運動機能向上事業参加者の健康管理など

勤務 偶数月の毎週火曜日で午前8時30分～正午と、毎週水曜日の午後1時～4時

賃金 時給1,270円

対 看護師資格があり8月から勤務できる人=若干名

申 電話で5月17日～31日に介護予防推進課(☎042-769-9249)へ
※面接時に履歴書(写真貼付)と看護師免許の写しを持参

イベント

「カルチャー&アートフェスティバル」津久井大会

城山・津久井・相模湖・藤野地区の文化団体を中心とした展示、芸能発表など

日 5月21日(金)～23日(日)
時 午前10時～午後8時
会 県立相模湖交流センター
問 文化振興課

弦楽四重奏コンサート

時 5月23日(日)午前10時・11時
会 古民家園(相模川自然の村公園内)

定 各40人(先着順)
※希望者は直接会場へ
問 文化財保護課

市民交響楽団定期演奏会

ドボルジャーク作曲「交響曲第8番ト長調作品88」ほか

時 6月27日(日)午後2時
会 グリーンホール相模大野

賃 1,000円(65歳以上・高校生以下・障害者手帳を持っている人は無料。小学生以外は要証明書)

※チケットMove(☎042-742-9999)ほかで販売
問 同実行委員の福西さん(☎090-6518-9286)

読者のひろば

催し 費用の記載がない場合は無料です。

▼混声合唱団あんさんぶるカノン定期演奏会 5月16日

(日)午後2時、杜のホールはしもと 問宮下(☎090-4528-7285)

▼ばら祭 100種類以上のばらを公開します。5月22日(土)午前10時～午後3時、相模台クリニック(座間市相模が丘) 問同クリニック(☎046-256-3300)

▼混声合唱団はしもとカンマーコール定期演奏会 5月22日(土)午後2時、杜のホールはしもと。入場料500円 問高橋(☎042-754-8468)

▼講演「ホントの強い子を育てる」～現代の子育てに大切な「5つのポイント」～ 6月4日(金)午前10時～11時30分、市民会館第1大会議室。定員100人(申込順)。保育あり(定員25人、要予約)。費用300円。対象は中学生以下の子どもを持つ母親 問電話か、ファクスに氏名、電話番号、保育の有無(有の場合は子どもの氏

名と年齢)を書いて都崎(☎042-758-0653)へ

▼やまびこ工房地域交流バザー 6月6日(日)午前10時～午後2時、やまびこ工房 問中島(☎042-760-1033)

仲間 会費などは個別にお問い合わせください。

▼エアロビクス 毎週金曜日午前10時、上溝公民館ほか。見学・体験可 問宮本(☎042-714-3553)

▼女声コーラス 毎週木曜日午前10時、橋本公民館ほか。初心者歓迎、幼児同伴可 問斎藤(☎042-712-4992)

▼弦楽合奏 毎月第2・第4日曜日午後5時、青少年学習センターほか 問山口(☎090-7019-9329)

▼ハーブとアロマを楽しむ 水～金・日曜日いずれか月1回、相模大野周辺ほか 問中山(☎042-765-5131)

▼絵手紙 毎月第3金曜日午後1時30分、橋本公民館。初心者歓迎、見学可 問鈴木(☎042-773-1547)

▼ズンバ(ダンスエクササイズ) 毎週木曜日午後1時45分、総合体育館ほか。初心者歓迎、体験あり 問麻生(☎042-747-8080)

▼健康体操 毎週木曜日午後6時30分、サン・エールさがみはら 問厚海(☎042-733-6180)

▼社交ダンス 毎週水曜日午前9時、中央公民館ほか。初心者歓迎 問吉岡(☎080-5683-4260)

▼空手道 毎週火曜日午後6時30分=青葉小学校、毎週土曜日午後5時15分=陽光台小学校ほか 問斉藤(☎042-758-9597)

▼テコンドー 毎週土曜日午後7時=けやき体育館、毎週日曜日午後6時=サン・エールさがみはら。体験あり 問佐藤(☎090-9105-1128)

募集 ▼フリーマーケット出店者 5月30日(日)雨天時6月6日(日)午前10時～午後2時30分、島忠ホームズ相模原店屋上(南区古淵2丁目)。定員80組(申込順)。参加費3,000円 問電話で竹部(☎045-565-2227)へ。(リサイクル運動推進事業協会のホームページからも申込可)

掲載の申込方法は毎月1日号でお知らせします

凡例 日=日時 日=日にち 時=時間 会=会場 講=講師 対=対象 費=費用(記載のない場合は無料) 定=定員(指定のないものは選考)
目=申し込み(期限で指定のないものは、必着) 問=お問い合わせ ☎=電話 ファクス Eメール HP=ホームページ

相模川ふれあい科学館 特別展「ブクぶくフグ展」



ハリセンボン、コンゴウフグなどフグの仲間を展示
日6月30日(水)まで
時午前9時30分～午後4時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 大人300円、小・中学生100円 65歳以上の人150円
問同館 (☎042-762-2110)

土曜コンサート 「リコーダー & 歌声喫茶風音楽」

日5月22日(土) 午後5時30分
会サン・エールさがみはら
定220人(先着順)
※希望者は直接会場へ
問同所 (☎042-775-5665)

あじさい油絵会 合同展

日5月27日(木)～6月1日(火)
時午前10時～午後5時(5月27日は正午から、6月1日は午後4時まで)
会相模原市民ギャラリー
問同会代表の渡邊さん (☎042-755-0521)

ソレイユさがみの催し

であいのサロン
おしゃべりの中から自分らしい生き方を見つける場
日6月14日(月)
時午前10時～正午
定30人(申込順)

からだの調子を整える野菜たっぷりクッキング
日6月19日(土)
時午前10時～午後1時
定30人(申込順)
費550円(材料費)

子育ておしゃべりサロン
自分らしい子育てを見つける場
日6月21日(月)
時午前10時30分～11時30分
対1歳未満の初めての子とその保護者=7組(申込順)

申直接か電話、ファクスに氏名、電話番号、催し名を書いて、ソレイユさがみ(☎042-775-1775 FAX042-775-1776)へ
※未就学児(2歳以上)の保育あり(要予約)

県立相模原公園の催し

「ハーブの楽しみ方」体験教室
ハーブの植え付け管理など
日6月20日(日)
時午後1時30分～3時30分
定40人(申込順)
申電話で同公園(☎042-778-1653)へ

サカタのタネグリーンハウスの催し

マンスリーコンサート
フルート&チェンバロコンサート
日5月16日(日)
時午後1時30分・2時30分

アトリエMIO「押し花の彩り」展
日5月25日(火)～6月6日(日)
時午前9時30分～午後4時

押し花体験教室
日6月6日(日)
時午前11時～午後2時
定50人(先着順)
費500円
※希望者は直接会場へ
問同ハウス(☎042-778-6816)

さがみはら国際交流ラウンジ
ハローインターナショナルサロン
「世界のHOT & SPICY 料理教室」

韓国、スペイン、中国、ネパール、ブラジル料理の調理、会食、懇談など
日5月30日(日)
時午前10時～午後2時30分
会ソレイユさがみ
対市内在住か在勤・在学の中学生以上の人=25人(申込順)
費800円
申直接か電話で同ラウンジ(☎042-750-4150)へ

さがみはら国際交流ラウンジ
ハローインターナショナルサロン
「世界のHOT & SPICY 料理教室」

韓国、スペイン、中国、ネパール、ブラジル料理の調理、会食、懇談など
日5月30日(日)
時午前10時～午後2時30分
会ソレイユさがみ
対市内在住かIn勤・在学の中学生以上の人=25人(申込順)
費800円
申直接か電話で同ラウンジ(☎042-750-4150)へ

時午後1時～2時30分
会市体育館(市役所前)ほか
定50人(申込順) 費2,000円
申電話で市ダンス協会の小川さん(☎090-8017-4056)へ

家族セミナー
子どもの自立と就職に向けて<全3回>

ニートやひきこもりなど自立が困難な若者の家族に向けた、セミナーと個別カウンセリング
日5月22日、6月5日・19日の土曜日
時午前10時～正午
会サン・エールさがみはら
定30人(申込順)
申電話で5月21日までにさがみはら若者サポートステーション(☎042-703-3861)へ

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

家庭倫理講演会 「ありがとうの一言が家庭を変える」
日5月30日(日)
時午前10時～11時40分
会あじさい会館
費1,000円
※希望者は直接会場へ
問家庭倫理の会相模原市の佐藤さん(☎042-756-6432)
※保育あり

絵手紙教室 <全4回>

野菜や花などを描きます。
日6月8日～29日の毎週火曜日
時午後1時30分～4時
会相模の大風センター
対60歳以上の人=15人(申込順)
費1,600円
申直接か電話で、同センター(☎046-255-1311)へ

マンションの新しい大規模修繕の事例

日5月29日(土)
時午後1時30分～4時
会市民会館
定60人(申込順)
申電話で相模原マンション管理組合ネットワーク(☎042-855-0555)へ

創業塾 これから起業(創業)をめざす方のためのセミナー <全5回>

日6月12日～7月17日の毎週土曜日(7月10日を除く)
時午前9時30分～午後4時30分
会産業会館
定40人(申込順)
費5,000円
申直接か電話、Eメールで相模原商工会議所(☎042-753-8135 E keieisien@ssp21.or.jp)へ

パソコン研修6月コース

電子メール・デジカメ各入門(各3時間4,000円)、ウィンドウズ基礎、ワード・エクセル各基礎(各6時間8,000円)、ホームページ作成(12時間1万5,000円)など
会産業会館
定各10～15人(申込順)
申電話かインターネットで同館(☎042-753-8133 HPhttp://www.sankai06.jp/)へ

固定資産税・都市計画税 第1期 軽自動車税

納期限 5月31日(月)

コンビニエンスストアでも納付できます

納税は便利な口座振替で 申金融機関の窓口へ

広報事業の財源とするため、広告を掲載しています。広告掲載の申し込みは広聴広報課(☎042-769-8200)へ。掲載した広告のお問い合わせは各広告主へ。

2010年 平成22年

5/15

No.0002

毎月15日発行

広報 さがみはら

ちゅうおう 区版

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/chuoku/

区の人口・世帯

人口 **265,077** 人 (20増)
男 135,449 / 女 129,628

世帯数 **111,092** 世帯 (201増)
平成22年4月1日現在 () は前月との増減

発行/相模原市 編集/中央区役所総務課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
市役所本庁舎内

☎042-769-9802

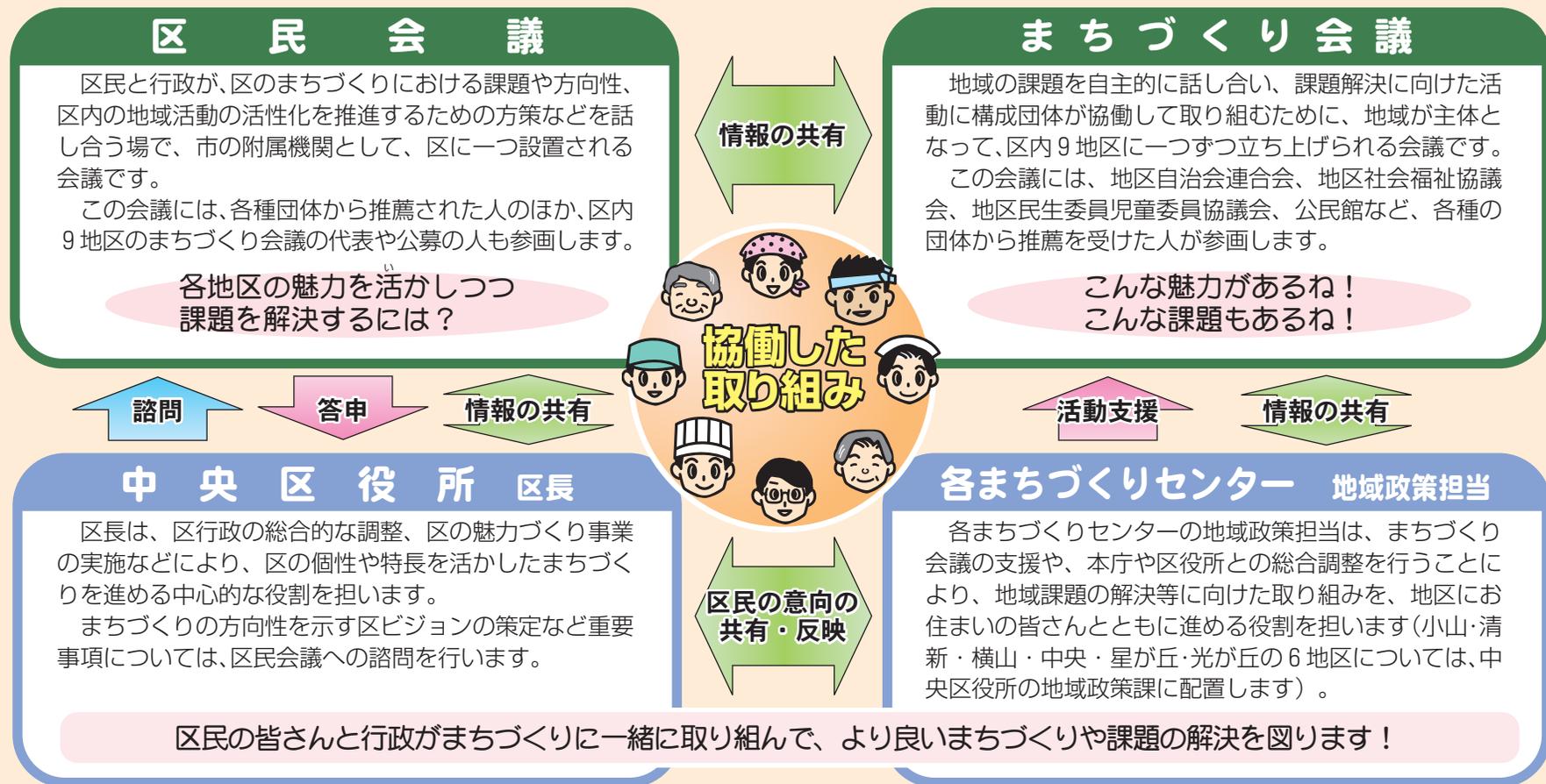
区や地区のまちづくりの仕組み

市は、政令指定都市への移行により、区制を活用した新しいまちづくりを始めています。

暮らしやすいまちづくりを進めるためには、その地区で暮らす人たちの視点を的確に把握することが第一歩となり、そして、その視点からの地区の魅力の磨き上げや課題解決に向けた話し合いが重要になっていきます。また、各地区の意見等を反映させた区全体の話し合いも欠かせません。

そこで今回は、「区や地区のまちづくりについて話し合う場」にスポットを当てて、その仕組みをご紹介します。

区や地区のまちづくりについて話し合う場



地域活性化事業交付金の申し込み締切日が近づいています！

この交付金は、より多くの区民の参加と協働による区内各地区の活性化をめざし、区民による、自主的かつ地域の活性化に資すると認められる事業に対して助成する制度です。中央区では、小山、清新、横山、中央、星が丘、光が丘、大野北、田名、上溝の9地区で、1地区あたり300万円の範囲内で交付します。なお、交付に当たっては、まちづくり会議の意見を伺いながら審査を行い、予算額の範囲内で交付対象事業と交付額を決定します。

締切日：5月31日(月)

お問い合わせ

- 小山・清新・横山・中央・星が丘・光が丘の6地区
中央区役所地域政策課 ☎042-769-9801
- 大野北地区 大野北まちづくりセンター ☎042-752-2023
- 田名地区 田名まちづくりセンター ☎042-761-0056
- 上溝地区 上溝まちづくりセンター ☎042-762-0079



相模川高田橋付近

潤水都市 さがみはら

鮎のまち、水郷田名

相模川に架かる高田橋のふもとの程近くに、「鮎の水郷田名」と刻まれた石碑があります。

田名地区の中でも特にこの付近は、明治の末から昭和初期にかけて、都会からの相模川の鮎の味を求める行楽客でにぎわい、「水郷」と呼ばれるようになりました。

当時、屋形船に乗って鵜飼漁などの鮎漁を見物したり、獲れたての鮎を食べる遊船会が盛んに催されていました。

その後、河川環境の変化などにより、一時、鮎は大きく数を減らしましたが、漁業協同組合による鮎の放流や、市民団体による河川清掃事業などの環境保全活動により、かつての「鮎の相模川」の姿を取り戻しました。先日も、元気に空を泳ぐ鯉のぼりの下で、子どもたちの手によって鮎が放流されました。

豊かな相模川の恵みを受けた「鮎のまち、水郷田名」。例年、県外からも多くの人が訪れ、鮎釣り解禁日には千人を超える釣り人でにぎわいます。いよいよ、6月1日、鮎釣り解禁です。



「鵜飼漁」昭和28年 田名 (相模原市史民俗編より)

鮎の体験放流

